

海外留学の成果報告

金沢大学

経済学類 経営・情報コース 4年

嵐柴 綾



留学先 // スウェーデン・
アメリカ合衆国

留学期間 // 令和元年8月26日
～令和2年3月20日

①留学をしようと思った動機

スウェーデンに留学することを決めた動機の一つに、北欧諸国のSDGs達成度の高さ、国民の幸福度の高さが挙げられます。SDGsとは”持続可能な発展目標”のことですが、大きく分けて社会・経済・環境の諸問題を解決していくための世界基準の目標のことです。日本は現在、少子高齢化や地域間経済格差、男女間格差などの諸問題を抱えており、どうすればこれらを解決し、誰一人取り残さない持続可能な社会を作っていくことができるのか、というのが私の疑問であり、興味関心分野の一つでした。その解決策が北欧という社会にあると確信し、それらをテーマとして実際に現地で学びたいと考え、スウェーデンに5ヶ月間派遣留学をすることを決めました。

②留学の内容および成果

スウェーデンでは実際に大学に通いながら、社会学（主にジェンダー学）と医学を組み合わせた授業や、北欧諸国の歴史や政治について学ぶ授業を受講していました。実戦活動として、スウェーデンの地方都市の一つであるヨーテボリの地域経済庁へSDGsの意識や取り組みについて取材に行き、北欧諸国のジェンダー平等への取り組みの一つであるユースクリニック（若年層向け保健施設）へ取材に行きました。これらの授業や実戦活動を通して、北欧諸国の地方自治体が持続可能社会のためにどのような実戦的取り組みを行っているのかを学ぶことができたのがスウェーデン留学で得た成果と言えます。アメリカ合衆国のニューヨークに移ったのち、SHINDO NYでインターンを開始しました。SDGsを積極的にビジネスに取り入れているSHINDOで実践的な国際マーケティングを学びたい、スウェーデンでインプットした学びを実際にインターンで働くことを通してアウトプットしたいというのが主な動機でした。インターン内容は、ショールームでの接客、顧客へのサンプルの用意や書類の英訳が主でした。それらを通して、(1)実際に接客や営業に携わったことで顧客の生の声が聞くことができ、環境配慮商品についての需要の高さを知ることができたこと、(2)CSRやSDGsに関わる業界認証の普及などの、アパレル業界のサステナブル活動について学べたことがこのインターンで得た成果と言えます。このインターン活動のほかに語学学校にも通っていましたが、自身の英語力を磨くことができたこと以上に、様々な国の人と出会いによって様々な国の社会的・政治的問題について学ぶことができたことは大きな成果でした。



支援企業

株式会社 SHINDO

